

2022年度 エコアクション21環境経営レポート

金属表面処理のことならKST株式会社へ

発行日 2024年 4月25日

対象期間 2022年8月1日～2023年7月31日



K S T 株式会社

目 次

- 1 弊社の組織概要・・・・・・・・・・・・・2
- 2 エコアクション21の対象範囲（認証・登録）・・・・・・・・・・・・・2
- 3 環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・3
- 4 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・4
- 5 環境経営目標・・・・・・・・・・・・・5
 - 5-1 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画一覧表
 - 5-2 環境経営目標の達成状況の確認（実績）
 - 5-3 環境経営目標の実績評価
- 6 環境経営計画・・・・・・・・・・・・・12
 - 6-1 環境経営計画の実施状況と取組結果の評価
 - 6-2 次年度の取組内容について
- 7 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・14
 - 7-1 前回の指示への取組結果について
 - 7-2 今回の評価結果について
 - 7-3 今回の指示について
- 8 記録の管理方法・・・・・・・・・・・・・15

【1】 弊社の組織概要

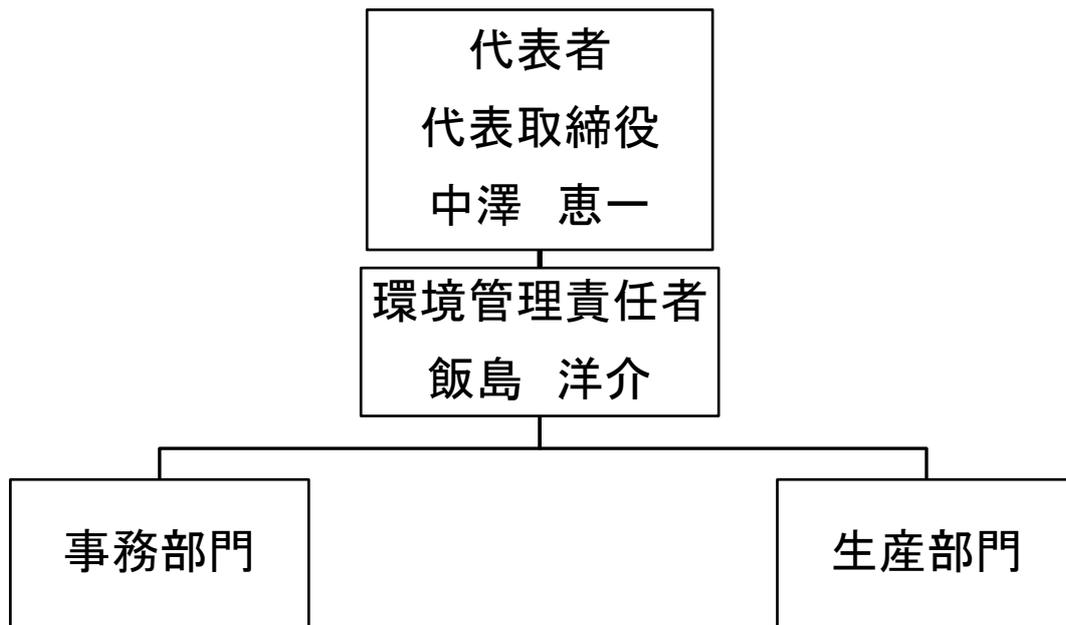
事業所の名称	K S T 株式会社		
代表者名	中澤 恵一		
所在地	〒300-1531 茨城県取手市小浮気 1 7 9-2		
事業内容 (認証・登録の範囲)	金属表面処理 (めっき)		
環境管理責任者氏名	飯島 洋介		
環境管理責任者連絡先	TEL:0297-85-3525	E-mail : y.iiijima@k-s-t.jp	
	FAX:0297-70-3516	URL : http://www.k-s-t.jp	
設立年	昭和 2 6 年	従業員	2 5 人
資本金	1 0 0 0 万円	延床面積	1223.13㎡
活動事業年度	8 月～ 7 月	敷地面積	935.69㎡

【2】 エコアクション 2 1 の対象範囲 (認証・登録)

弊社は、以下の全組織、全活動、全従業員を対象範囲としてエコアクション 2 1 に取り組んでいます。

①組織	本社・工場
②活動	金属表面処理 (めっき)
③従業員数	2 5 人

④組織図



【3】環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社が遵守しなければならない環境関連法規として、下水道法、廃棄物処理法、道路運送車両法、騒音規制法、毒物及び劇物取締法、茨城県条例等があります。

弊社では、これらの法規制遵守のために、法規制などの一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認しています。

また、これらの法規制などに関して関係当局からの違反の指摘や、環境関連の訴訟は過去5年間ございません。

【4】環境経営方針

弊社は、環境経営方針を以下のように定めております。

< 基本理念 >

KST株式会社は、環境問題の重要性を認識し、企業として環境保全に取り組む事は社会的使命であると共に、そのためにはSDGsを念頭においた、具体的な行動を起こさなければならないと考えます。

よって、次に示す行動指針により、環境保全へのたゆまぬ努力と環境経営を全社一丸で取り組み、推進して参ります。

< 行動指針 >

弊社の抱える課題（個人の技術力の差、一部設備の老朽化、米中貿易摩擦による受注の鈍化など）の解決への過程においても、下記5項目を十分念頭におき、行動することと致します。

また、弊社の強みである『新ライン増設による処理能力の増加』『短納期・緊急受注への対応が可能』『熱処理炉導入による多様な処理が可能』『展示会、ホームページによる新規問合せの増加』などの点を一人一人が理解し、チャンスへ変えようと、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 環境をまもり、環境にやさしいハイレベルな金属表面処理で社会に貢献します。



2. 電力・燃料の効率化に努め、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献致します。



3. 3R（減量、再使用、再生利用）に努め、廃棄物を削減し、循環型社会の創出に貢献致します。



4. 節水、効率化に努め、総排水量を削減致します。



5. 環境関連法規や弊社が約束したことを順守致します。



制定日：2008年11月13日

改訂日：2022年01月01日

KST株式会社
代表取締役社長 中澤恵一

【5】環境経営目標

5-1 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画一覧表

K S T株式会社							代表者 (承認)	環境管理責任者 (作成)	
2022年度 (2022.08.01~2023.07.31)							中澤恵一	飯島洋介	
							2022.08.01	2022.08.01	
環境経営方針	環境経営目標						環境経営計画の 具体的施策		
	項 目	中長期目標			今年度目標				
		2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022年度 2021年8月~2022年7月		2022年度 2021年8月~2022年7月		
1 環境を守り、 環境に優しい レベルの 金属表面処理で 社会貢献します	11 環境配慮型 金属表面処理 受注の拡大	硬質無電解ニッケルの 顧客拡大	5社増	5社増	5社増	5社増	①広報と販売促進		
	12 化学物質 使用量削減 (kg)	硫酸使用量削減 (kg)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.030 以下 の使用量とする 使用量(kg)/売上高(万円)		①廃液の滲み出し量減少 ②溶液の再利用	
		硫酸使用量削減 (kg)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.035 以下 の使用量とする 使用量(kg)/売上高(万円)		①廃液の滲み出し量減少 ②排水処理での使用量減。 補給投入量の適正化	
		硝酸使用量削減 (kg)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.055 以下 の使用量とする 使用量(kg)/売上高(万円)		①廃液の滲み出し量減少 ②溶液の再利用 ③補給投入量の適正化	
		苛性ソーダ使用量削減 (kg)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.065 以下 の使用量とする 使用量(kg)/売上高(万円)		同上	
		ニッケル及び化合物使用 量削減(kg)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.95 以下 の使用量とする 使用量(kg)/売上高(万円)		同上	
2 電力・燃料の効率 化に努め、CO2排出 量を削減し、地球 温暖化防止に貢献 します	21 CO2排出量の 抑制・削減	CO2発生抑制・排 出削減(kg-CO2)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 13.5 以下 の排出量とする 排出量(kg-CO2)/売上高(万 円)		下記の全活動の実施	
		電力消費量の 抑制・削減(kWh)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 8.50 以下 の消費量とする 消費量(kWh)/売上高(万円)		①不要照明の消灯 ②エアコン設定温度の管理	
		ガス消費量の 抑制・削減(m3)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 4.40 以下 の消費量とする 消費量(m3)/売上高(万円)		①脱脂液の温度管理の徹底 ②作業効率アップ、 ボイラ運転時間短縮、 蒸気漏れによるロスを防ぐ	
		ガソリン/軽油消費量 の抑制・削減(ℓ)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.35 以下 の消費量とする 消費量(ℓ)/売上高(万円)		①エコドライブの実施 ②配送ルート見直し	
3 3Rに努め、 廃棄物を削減し、 循環型社会の 創出に貢献します	31 廃棄物の削減	産業廃棄物の削減 (kg)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.15 以下 の廃棄量とする 廃棄量(kg)/売上高(万円)		①分別と再利用	
		汚泥(産廃)の削減 (t)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	発生させない		①めっき液の滲み出し減少	
		金属(産廃)の削減 (t)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	発生させない		①めっき極板の再利用	
4 節水及び効率化に 努め、総排出量を 削減します	41 節水	水道水消費量の 抑止・削減(m3)	前年度 同様	前年度 同様	前年度 同様	売上高との比率を 0.50 以下 の消費量とする 消費量(m3)/売上高(万円)	①ライン毎の水洗効率見直 ②蛇口の開閉による節水		
							32 グリーン購入	グリーン購入率の 増加(円)	前年度 同様
5 環境関連法規制や 弊社が約束したこ とを遵守します	51 遵法	関連環境法規制等 のリストアップと遵守 の定期的チェック	年1回チェック			年1回チェック	①毎年8月にチェック		

【5】環境経営目標
5-2 環境経営目標の達成状況の確認（実績）

環境経営目標		目標達成状況と実績			
内 容	今年度目標 (2022年度)	前年度 (2021年度)	目標(値)	実績(値)	達成状況
1101 硬質無電解ニッケル顧客拡大（社）	5社増(新規)	5社増	5社増(新規)	6社	達成
1201 塩酸使用量の削減（kg）	売上高との比率を 0.030以下とする	0.027	0.030	0.035	未達成
1202 硫酸使用量の削減（kg）	売上高との比率を 0.035以下とする	0.039	0.035	0.032	達成
1203 硝酸使用量の削減（kg）	売上高との比率を 0.055以下とする	0.056	0.055	0.052	達成
1204 苛性ソーダ使用量の削減（kg）	売上高との比率を 0.065以下とする	0.067	0.065	0.057	達成
1205 ニッケル及び化合物使用量の削減 （kg）	売上高との比率を 0.95以下とする	0.95	0.95	0.93	達成
2100 CO2の発生抑制、排出削減 （kg-CO2）	売上高との比率を 13.5以下とする	13.9 排出量 420,079	13.5 排出量 407,990	11.9 排出量 491,480	達成
2101 電力消費量の抑制と削減 （kwh）	売上高との比率を 8.50以下とする	8.32 消費量 251,331	8.50 消費量 256,768	6.47 消費量 265,646	達成
2102 ガス消費量の抑制と削減（m3）	売上高との比率を 4.40以下とする	4.33 消費量 130,950	4.40 消費量 133,067	3.93 消費量 161,530	達成
2103 ガソリン/軽油消費量の抑制と削減 （ℓ）	売上高との比率を 0.35以下とする	0.35 消費量 10,588	0.35 消費量 10,588	0.25 消費量 10,272	達成
3101 産業廃棄物の削減（kg）	売上高との比率を 0.15以下とする	0.17	0.15	0.18	未達成
3102 汚泥（産業廃棄物）の削減 （t）	発生させない	0.00	0.00	0.00	達成
3103 金属（産業廃棄物）の削減 （t）	発生させない	0.00	0.00	0.00	達成
3201 グリーン購入額の増加（円）	前年度比の1%増加	162,900	163,063	220,540	達成
4101 水道水消費量の抑制と削減(m3)	売上高との比率を 0.50以下とする	0.51	0.50	0.39	達成
5101 関連環境法規制等のリストアップと 遵守の定期的チェック	チェック年1回	-	チェック年1回	実施済	達成

※CO2排出係数：0.441 kg-CO2/kWh にて算出

2022年度売上高：41,087 万円

● 環境目標 : 塩酸使用量の削減 使用量(kg)/売上高(万円)
 使用量：1,460kg
 売上高との比率を0.030以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.027	0.030	0.026	0.027	0.035	13.3% ↑

● 環境目標 : 硫酸使用量の削減 使用量(kg)/売上高(万円)
 使用量：1,340kg
 売上高との比率を0.035以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.039	0.035	0.032	0.039	0.032	8.6% ↓

● 環境目標 : 硝酸使用量の削減 使用量(kg)/売上高(万円)
 使用量：2,160kg
 売上高との比率を0.055以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.056	0.055	0.059	0.056	0.052	11.9% ↓

● 環境目標 : 苛性ソーダ使用量の削減 使用量(kg)/売上高(万円)
 使用量：2,350kg
 売上高との比率を0.055以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.067	0.065	0.063	0.067	0.057	9.2% ↓

● 環境目標 : ニッケル及び化合物使用量の削減 使用量(kg)/売上高(万円)
 使用量：38,400kg において水溶性化合物 (含有率5g/1kg) =192kg
 売上高との比率を0.95以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.95	0.95	1.14	0.95	0.93	2.1% ↓

2022年度売上高：41,087 万円

● 環境目標：CO2排出量の削減 排出量(kg-CO2)/売上高(万円)
排出量：491,478kg-CO2
売上高との比率を13.5以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
13.9	13.5	16.9	13.9	11.9	14.3% ↓

● 環境目標：電力消費量の削減 消費量(kwh)/売上高(万円)
消費量：265,646kWh
売上高との比率を8.50以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
8.32	8.50	11.73	8.32	6.47	23.9% ↓

● 環境目標：ガス消費量の削減 消費量(m3)/売上高(万円)
消費量：161,530m3
売上高との比率を4.40以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
4.33	4.40	4.93	4.33	3.93	10.7% ↓

● 環境目標：ガソリン消費量の削減 消費量(l)/売上高(万円)
消費量：10,272l
売上高との比率を0.35以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.35	0.35	0.43	0.35	0.25	28.6% ↓

● 環境目標：産業廃棄物の削減 廃棄量(kg)/売上高(万円)
廃棄量：7,490kg
売上高との比率を0.15以下の廃棄量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.17	0.15	0.19	0.17	0.18	20.0% ↑

● 環境目標：水道水消費量の削減 消費量(m3)/売上高(万円)
消費量：16,147m3
売上高との比率を0.50以下の使用量とする

2021年度	目標値	実績			2022年度結果
		2020年度	2021年度	2022年度	対目標値
0.51	0.50	0.75	0.51	0.39	22.0% ↓

【5】環境経営目標
5-3 環境経営目標の実績評価

環境経営目標		環境経営目標の実績評価			
内 容	今年度目標 2022年度	達成実績 (達成率 (%))	目標設定方法や 設定レベルの課題	取組み方法につい ての問題点	次年度の課題
K S T株式会社				代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
2022年度 (2022. 08. 01～2023. 07. 31)				中澤恵一	飯島洋介
				2023/8/20	2023/8/20
1101 硬質無電解ニッケル顧客拡大 (社)	5 社増(新規)	達成 新規 6 社	○	○	○
1201 塩酸使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.030以下とする	86%	○	○	△
1202 硫酸使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.035以下とする	109%	○	○	○
1203 硝酸使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.055以下とする	106%	○	○	○
1204 苛性ソーダ使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.065以下とする	114%	○	○	○
1205 ニッケル及び化合物使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.95以下とする	102%	○	○	○
2100 CO2の発生抑制、排出削減 (kg-CO2)	売上高との比率を 13.5以下とする	113%	○	○	○
2101 電力消費量の抑制と削減 (kwh)	売上高との比率を 8.50以下とする	131%	○	○	○
2102 ガス消費量の抑制と削減 (m3)	売上高との比率を 4.40以下とする	112%	○	○	○
2103 ガソリン/軽油消費量の抑制と削減 (ℓ)	売上高との比率を 0.35以下とする	140%	○	○	○
3101 産業廃棄物の削減 (kg)	売上高との比率を 0.15以下とする	83%	○	○	△
3102 汚泥 (産業廃棄物) の削減 (t)	発生させない	達成	○	○	○
3103 金属 (産業廃棄物) の削減 (t)	発生させない	達成	○	○	○
3201 グリーン購入額の増加 (円)	前年度比の1%増加	135%	○	○	○
4101 水道水消費量の抑制と削減(m3)	売上高との比率を 0.50以下とする	128%	○	○	○
5101 関連環境法規制等のリストアップと 遵守の定期的チェック	チェック年1回	達成	○	○	○

○問題なし △課題あり

【6】環境経営計画

6-1 環境経営計画の実施状況と取組結果の評価

K S T株式会社

2022年度

(2022. 08. 01～2023. 07. 31)

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
中澤恵一	飯島洋介
2023/8/20	2023/8/20

環境経営目標	環境経営計画項目	環境経営計画の取り組み評価		
		責任者、担当者について	課題の発生	実施スケジュールの遅延等
1101 硬質無電解ニッケル顧客拡大 (社)	①広報と販売促進	○	○	○
1201 塩酸使用量の削減 (kg)	①廃液のしみ出し量減少 ②溶液の再利用	○	○	△
1202 硫酸使用量の削減 (kg)	①廃液のしみ出し量減少 ②排水処理での使用量減。 投入量の適正化	○	○	○
1203 硝酸使用量の削減 (kg)	①廃液のしみ出し量減少 ②溶液の再利用 ③補給投入量の適正化	○	○	○
1204 苛性ソーダ使用量の削減 (kg)	同上	○	○	○
1205 ニッケル及び化合物使用量の削減 (kg)	同上	○	○	○
2100 CO2の発生抑制、排出削減 (kg-CO2)	下記の全活動	○	○	○
2101 電力消費量の抑制と削減 (kwh)	①不要照明の消灯 ②エアコン設定温度の管理	○	○	○
2102 ガス消費量の抑制と削減 (m3)	①脱脂液の温度管理の徹底 ②作業効率アップ、ホィール運転時間短縮、 蒸気漏れによるロスを防ぐ	○	○	○
2103 ガソリン/軽油消費量の抑制と削減 (ℓ)	①エコドライブの実施 ②配送ルート見直し	○	○	○
3101 産業廃棄物の削減 (t)	①分別と再利用	○	○	△
3102 汚泥 (産業廃棄物) の削減 (t)	①めっき液のしみ出し減少	○	○	○
3103 金属 (産業廃棄物) の削減 (t)	①めっき極板の再利用	○	○	○
3201 グリーン購入額の増加 (円)	①カタログ選定・発注 ②グリーン購入積極活用	○	○	○
4101 水道水消費量の抑制と削減 (m3)	①ライン毎の水洗効率見直 ②蛇口の開閉による節水	○	○	○
5101 関連環境法規制等のリストアップと 遵守の定期的チェック	①毎年8月にチェック	○	○	○

○問題なし △課題あり

【6】環境経営計画
6-2 次年度の取組内容について

K S T株式会社

2022年度

(2022年8月～2023年7月)

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
中澤恵一	飯島洋介
2023/8/20	2023/8/20

環境経営目標	環境活動計画項目	次年度の取り組み内容について
1101 硬質無電解ニッケル顧客拡大 (社)	①広報と販売促進 ②硬質クロムの代替案の積極的提案(新規)	活動を継続する
1201 塩酸使用量の削減 (kg)	①廃液の滲み出し量減少 ②溶液の再利用	活動を継続する
1202 硫酸使用量の削減 (kg)	①廃液の滲み出し量減少 ②排水処理での使用量減。 投入量の適正化	活動を継続する
1203 硝酸使用量の削減 (kg)	①廃液の滲み出し量減少 ②溶液の再利用 ③補給投入量の適正化	活動を継続する
1204 苛性ソーダ使用量の削減 (kg)	同上	活動を継続する
1205 ニッケル及び化合物使用量の削減 (kg)	同上	活動を継続する
2100 CO2の発生抑制、排出削減 (kg-CO2)	下記の全活動	活動を継続する
2101 電力消費量の抑制と削減 (kwh)	①不要照明の消灯 ②エアコン設定温度の管理	活動を継続する
2102 ガス消費量の抑制と削減 (m3)	①脱脂液の温度管理の徹底 ②作業効率アップ、ボイラー運転時間短縮、 蒸気漏れによるロスを防ぐ	活動を継続する
2103 ガソリン/軽油消費量の抑制と削減 (ℓ)	①エコドライブの実施 ②配送ルート見直し	活動を継続する
3101 産業廃棄物の削減 (t)	①分別と再利用	活動を継続する
3102 汚泥 (産業廃棄物) の削減 (t)	①めっき液の滲み出し減少	活動を継続する
3103 金属 (産業廃棄物) の削減 (t)	①めっき極板の再利用	活動を継続する
3201 グリーン購入額の増加 (品)	①カタログ選定・発注 ②グリーン購入積極活用	活動を継続する
4101 水道水消費量の抑制と削減 (m3)	①ライン毎の水洗効率見直 ②蛇口の開閉による節水	活動を継続する
5101 関連環境法規制等のリストアップと 遵守の定期的チェック	①毎年8月にチェック	活動を継続する

【7】代表者による全体評価と見直しの結果

7-1 前回の指示への取組結果について

前回の指示への対応は適正に実施されたと認めます。

7-2 今回の評価結果について

K S T株式会社		代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)		
2022年度 (2021. 08. 01～2022. 07. 31)		中澤恵一	飯島洋介		
		2023/8/20	2023/8/20		
環境経営目標		環境経営目標の実績評価			
内 容	今年度目標 2022年度	達成実績 (達成率 (%))	目標設定方法や 設定レベルの課題	取組み方法につい ての問題点	次年度の課題
1101 硬質無電解ニッケル顧客拡大 (社)	5 社増(新規)	新規 6 社	○	○	○
1201 塩酸使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.030以下とする	86%	○	○	△
1202 硫酸使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.035以下とする	109%	○	○	○
1203 硝酸使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.055以下とする	106%	○	○	○
1204 苛性ソーダ使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.065以下とする	114%	○	○	○
1205 ニッケル及び化合物使用量の削減 (kg)	売上高との比率を 0.95以下とする	102%	○	○	○
2100 CO2の発生抑制、排出削減 (kg-CO2)	売上高との比率を 13.5以下とする	113%	○	○	○
2101 電力消費量の抑制と削減 (kwh)	売上高との比率を 8.50以下とする	131%	○	○	○
2102 ガス消費量の抑制と削減 (MJ)	売上高との比率を 4.40以下とする	112%	○	○	○
2103 ガソリン/軽油消費量の抑制と削減 (ℓ)	売上高との比率を 0.35以下とする	140%	○	○	○
3101 産業廃棄物の削減 (t)	売上高との比率を 0.15以下とする	83%	○	○	△
3102 汚泥 (産業廃棄物) の削減 (t)	発生させない	達成	○	○	○
3103 金属 (産業廃棄物) の削減 (t)	発生させない	達成	○	○	○
3201 グリーン購入額の増加 (円)	前年度比の1%増加	135%	○	○	○
4101 水道水消費量の抑制と削減(m3)	売上高との比率を 0.50以下とする	128%	○	○	○
5101 関連環境法規制等のリストアップと 遵守の定期的チェック	チェック年1回	達成	○	○	○

○問題なし △課題あり

【7】代表者による全体の評価と見直し・指示

7-3 今回の指示について

作成		中澤恵一		2023/8/30	
見直し項目				変更の必要性	環境管理責任者への指示事項
環境経営システムの各プロセス	P D C A サイクル	A→P	代表者による全体の評価と見直しの計画への反映, など	不要	現状の運用を継続すること
		P→D	計画の効果的な実施, など	不要	現状の運用を継続すること
		D→C	実施体制、実施状況、結果の適切な確認・評価, など	不要	現状の運用を継続すること
		C→A	確認・評価された情報の、代表者による全体の評価と見直しへの反映, など	不要	現状の運用を継続すること
環境への取組	環境経営方針			不要	現状の運用を継続すること
	環境経営目標	今年度		不要	現状の運用を継続すること
		中長期		不要	現状の運用を継続すること
	環境経営計画			不要	現状の運用を継続すること
	是正処置の実施			不要	現状の運用を継続すること
	環境関連法規等の遵守			不要	現状の運用を継続すること

【8】記録の管理方法

弊社では、環境管理責任者が3年間保管し、それ以降は個人情報等の機密レベルや、リサイクルの推進などを総合的に勘案して、適切な廃棄方法を選択し、処理することにしております。